

高齢化、人口減少時代の社会インフラの提供

2019年度の活動目標・実績と2020年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2019年度の目標・計画	2019年度の実績・成果	評価	2020年度の目標
育児・高齢者支援など	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの継続と親子参加型イベント・マタニティ教室、お取引先様と連携した講習会の開催 ●利用客数拡大の取り組みを再強化(告知、イベント内容と頻度、お取引先様合同企画の見直し) ●新規育成目標 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:5人 ハートフルアドバイザー:15人 ●認知症サポーター:489人 累計:5,200人 ●こども靴下取り足数:91,644足 ●盲導犬育成事業への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ●各プレママステーション・カウンターにて親子参加型イベントやマタニティ教室、講習会を毎月実施 ●プレママステーション・カウンター実績:14,686人 ※うちリピーター4,849人 リピート率:前年度比+3% ●新規育成実績 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:9人 ハートフルアドバイザー:40人 ●認知症サポーター:297人 累計:5,008人 ●こども靴下取り足数:95,768足 2009年からの累計足数:951,395足 ●盲導犬育成事業団への募金活動:38,354千円 2003年からの累計金額:649,303千円 	○ △ ○ × ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ●プレママステーション・カウンターの継続と親子参加型イベント・マタニティ教室、お取引先様と連携したお客様向けの講習会の開催 ●新規育成目標 シューフィッター:10人 フォーマルスペシャリスト:10人 ハートフルアドバイザー:15人 ●新入社員を中心に認知症サポーターを増員 累計目標:5,300人 ●こども靴下取り目標 2009年からの累計足数:100万足 ●盲導犬育成事業への協力継続
地域活性化への協力	<ul style="list-style-type: none"> ●次世代に向けSDGsと連携した教育を実施(「グリーンカーテン」「打ち水」「お仕事体験」「フードバンクキャンペーン」「夏休みSDGsイベント」など) ●期日前投票所設置により有権者の投票の利便性向上の継続実施 ●店舗が主体となり、地域のそれぞれの伝統・技術・文化・地域限定商品、特産品の紹介、販売を推進(継続) ●店舗間での各地域限定商品、特産品の情報共有・告知・販売(継続) ●LGBTへの対応 行政・地域と連携した理解促進と従業員に向けた研修の実施 ●地元大学との連携 出張授業、学生主体のイベント実施 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域(行政、学校)と連携し、「グリーンカーテン」「お仕事体験」「夏休みキッズアカデミー」などSDGsに関連したイベントを各店舗にて実施 ●期日前投票所を4店舗(池袋本店・千葉店・東戸塚店・福井店)に設置 ●地域の特産品を紹介、販売する地産地消費事などを地域と連携して実施(横浜店・千葉店・広島店・大宮店・福井店・大津店・徳島店) ●福井(信越)物産展を開催(千葉店・大宮店) ●行政・地域と連携したLGBTイベント(レインボープライド)への参画と従業員研修の実施(渋谷店) ●SDGsに関連する特別講演などの実施(早稲田大学、立教大学) 	○ ○ ○ ○ ○ ○	<ul style="list-style-type: none"> ●自治体などと締結している「包括連携協定」など、行政と連携した取り組みを強化 ●利便性向上と投票率向上に向けた各選挙時の期日前投票所の設置と告知の実施 ●店舗個別での地域産品のお中元・お歳暮ギフト紹介など、地産地消のさらなる推進 ●店舗周辺清掃・環境美化活動、屋上を活用した緑地推進を継続実施 ●地域(行政、学校、企業、NPOなど)と連携したイベントの実施

商品や店舗を通じた安全・安心の提供

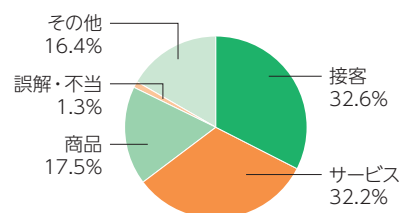
お客様相談受付関連データ

各店舗のお客様相談窓口へ寄せられた「お客様の声」を受けて、接客レベルの向上・商品の品揃え・付帯サービス・施設の改善などに活かせるように社内でも共有。お客様のご不満の解消と、お客様のニーズを営業施策に反映するための活動を推進してきました。

今後も、「お客様の声」からのご意見・ご要望を受けて、お客様の求める商品・サービスの提供を実践し、店舗と本部が連携して、顧客満足の向上と維持に努めてまいります。

2019年度相談内容の内訳

受付件数7,903件(前年度比104.4%)



2019年度の活動目標・実績と2020年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2019年度の目標・計画	2019年度の実績・成果	評価	2020年度の目標
商品とサービスの品質・安全性の確保				
	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗従業員の衛生管理知識向上の継続 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確にし、店舗品質管理委員会のPDCA活動において改善・検証を継続実施 ●衣料・雑貨領域の商品に対する専門機関によるサンプリング検査の継続実施 ●店舗従業員のスキルアップのために階層別研修を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●小冊子「食品衛生管理の基本ポイント」や・DVD・eラーニングを研修、朝昼礼や現場指導で活用 ●店舗品質管理委員会で月次課題を整理し改善・検証を実施 ●ベビー衣料、婦人衣料、季節商品など、サンプリング検査を月次でテーマごとに実施 ●店舗従業員のスキルアップのために階層別研修を34回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●店舗従業員の衛生管理知識向上の継続 ●店舗ごとに食品衛生の課題を明確にし、店舗品質管理委員会のPDCA活動において改善・検証を継続実施 ●衣料・雑貨領域の商品に対する専門機関によるサンプリング検査の継続実施 ●店舗従業員のスキルアップのために階層別研修を継続
安心して利用できる店舗・設備の整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●横浜店の多目的トイレの増設 ●ユニバーサルデザイン視点での店舗・設備の点検を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●多目的トイレ3カ所を新設(横浜店) ●トイレ内の機能配置を検証し、改修に反映 ●埼玉県と連携し、西武所沢ショッピングセンターの障がい者用駐車場区画を青く塗装 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●ユニバーサルデザイン視点での店舗・設備の点検を継続
適切な情報提供				
	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●食品・飲食(厨房・売場)・衣料・雑貨を対象に専門機関の「表示」点検を150回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●専門機関と提携した「表示」の確認・点検を実施し、適切な表示と情報開示を継続(全店舗で年2回以上の定期点検の実施)
お客様の声への誠実な対応(体制)				
	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」からのご意見やご要望に対して真摯に耳を傾け、店舗と本部が連携して問題解決を図り、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からの「ご不満の声」の削減：2,900件以下 	<ul style="list-style-type: none"> ●継続して「お客様の声」を活用した「サービス注意報」を毎週発信し、ご不満の解消とサービスマインド向上の活動を継続して実施 ●「ご不満の声」は2,591件(目標差▲309件) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●「お客様の声」からのご意見やご要望に対して真摯に耳を傾け、店舗と本部が連携して問題解決を図り、さらなる従業員のサービスマインドの向上を推進 ●お客様からの「ご不満の声」の削減：2,450件以下
災害時の支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●すでに締結している「地域連携包括協定」や地震災害時「帰宅困難者対策」を含めた地元自治体・企業との連携・協力体制の継続 ●「防災フェア」などの開催を通じ、地域と連携した防災への意識啓発活動の推進継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災とボランティア週間や火災予防週間に合わせ、各店舗で防災教育や防災訓練の実施 ●行政機関、地域事業者と連携した「帰宅困難者対策協議会」「駅周辺混乱防止対策協議会」への積極的な参加 ●所轄消防署、地域事業者と連携した「地域防災訓練」「自衛消防訓練審査会」に従業員教育を兼ね、積極的に参加 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○ ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員教育の一環として、行政と連携した防災教育、訓練の継続実施 ●地域事業者と連携した防災力向上について、消防署、行政との取り組み実施 ●行政関係者との連携強化に向け、地域事業者の代表として、各種の訓練、取り組みへの積極的な参加
地域防犯対策				
	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者が一体となり、警察関係者とのコミュニケーション強化を継続 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者、警察関係者と連携し、「防犯パトロール」や「テロ対策訓練」に参加 ●警察協議会副会長として、警察行政に参画し、地域事業者としてリーダーシップを発揮した(池袋本店・池袋警察署) 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域事業者と連携し、警察関係者とのコミュニケーション強化を継続

商品、原材料、エネルギーのムダのない利用

2019年度の活動目標・実績と2020年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2019年度の目標・計画	2019年度の実績・成果	評価	2020年度の目標
環境負荷の適切な把握				
	●ISO14001 定期審査での推奨事項の拡大、指摘事項の削減	●ISO14001 更新審査結果:推奨事項8件(前回差±0件)、不備0件 ※さまざまなステークホルダーと連携したSDGsへの取り組みを、教育などを含め精力的に実施した点がストロングポイントとして評価	○	●ISO14001 定期審査での推奨事項の拡大、不備0件継続
エネルギー効率の向上と再生可能エネルギーの導入				
	●営業店舗ベースで、前年度比1%削減 ●LED導入の拡大を継続	●営業店舗ベースで、前年度比1%超削減 ●3店舗に232百万円を投資してLED照明を導入 年間637t-CO ₂ を削減	○ ○	●営業店舗ベースで、前年度比1%削減 ●LED照明の導入拡大を継続
廃棄物の削減と循環型社会の構築				
	●食品廃棄物リサイクル率:73.2%(前年度比+1.0%) ●廃棄物リサイクル率:70.6%(前年度比+1.0%) ●引き続き分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上(継続)	●食品廃棄物リサイクル率:72.6%(前年度比+0.4%) ●廃棄物リサイクル率:70.2%(前年度比+0.6%)	△ △	●食品廃棄物リサイクル率:73.6%(前年度比+1.0%) ●廃棄物リサイクル率:71.0%(前年度比+0.8%) ●引き続き分別細分化による廃棄物リサイクル率の向上(継続)
生物多様性への対応				
	●植樹:1,500本 ●グリーンラッピング目標:54,009件 ●社員ボランティアによる植樹活動の実施	●植樹:1,230本 ●グリーンラッピング実績:44,944件 ●社員ボランティアによる植樹活動の実施(6月:山梨県笛吹市)	× × ○	●グリーンラッピング、レジ袋削減、簡易包装・エコ包装の推進による植樹活動の強化 レジ袋辞退率目標:30% 植樹目標:1,500本
従業員への意識啓発				
	●環境eラーニング:全従業員受講 ●エコ検定受験者:140人 合格率:90% ●第2回CSVアイデアコンペ最優秀案の実現	●環境Eラーニング:全従業員受講 ●社会環境課題について社内報での連載(SDGs特集) ●エコ検定受験者:128人 合格率:85.7% ●CSVアイデアコンペ:琵琶湖で駆除した外来魚を堆肥化し栽培した果実の店頭販売と琵琶湖保全の情報宣伝活動を実現	○ △ ○	●全従業員への環境教育の実施 ●エコ検定合格者:100人 合格率:90% ●社会貢献と企業発展が両立する従業員アイデアコンペの継続実施

環境関連データ

課題	単位	2017年度	2018年度	2019年度
店舗数	店舗	17	15	15
CO ₂ 排出量 ^{*1} *2 ^{*3}	t-CO ₂	142,853	123,507	116,173
店舗運営に伴うCO ₂ 排出量 ^{*1} *3	t-CO ₂	142,241	123,062	115,753
店舗運営に伴う電気使用量 ^{*1}	GWh	261	221	211
店舗運営に伴う水使用量 ^{*1}	千m ³	1,855	1,656	1,583
容器包装使用量	t	1,276	1,280	1,281
廃棄物量(リサイクル率)	t(%)	24,310(67.3)	21,226(69.6)	21,060(70.2)
食品廃棄物のリサイクル率	%	69.4	72.2	72.6

※1 集計期間は4月～3月。

※2 店舗運営・本部・法人外商部・物流センターの運営に伴うエネルギー使用に由来するCO₂排出量。

※3 CO₂排出量は「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO₂排出量算定マニュアル」に沿って算出しています。

社内外の女性、若者、高齢者の活躍支援

2019年度の活動目標・実績と2020年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2019年度の目標・計画	2019年度の実績・成果	評価	2020年度の目標
能力向上支援				
	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修の新規受講者数:1,800人(内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・販売基礎研修:1,200人 ・キャリアアップ研修:600人 	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修の新規受講者数:1,090人(内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・販売基礎研修:849人 ・キャリアアップ研修 2018年度で終了 ⇒2019年以降は「グロービス学び放題」に移行 グロービス学び放題受講完了者:241人 	×	<ul style="list-style-type: none"> ●各種研修の新規受講者数:1,200人(内訳) <ul style="list-style-type: none"> ・動画基礎研修(マネジメント支援サービスクリップライン) 必須受講者:200人(2020年新入社員120人 2019年新入社員80人) ・グロービス学び放題 受講完了者:1,000人
ワークライフバランスの実現				
	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総労働時間の見直し(年間所定休日の拡充) ●年次有給休暇の取得促進(半休取得上限の拡大) ●パートナー社員の休暇制度の見直し ●出産・育児支援制度のさらなる周知 	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総労働時間:15.5時間削減(年間所定休日を114日(+2日)に改定) ●年次有給休暇取得率:19.7%(+1.7%) ●パートナー社員の慶弔休暇、育児休職期間、介護休職の日数・期間などを正社員同様の日数に改定 ●育児休暇取得率:33.8%(+5.0%) ※男性社員の取得率:28.0%(−10.1%) 	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>△</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●年間総労働時間のさらなる見直し 目標年間所定労働時間:1,867.5時間(−77.45時間) 目標年間所定休日:116日(+2日) ●年次有給休暇の取得率:25% ●男性社員の育児休暇取得率:35%
多様な人材の活躍				
	<ul style="list-style-type: none"> ●契約社員からの正社員登用:50人 ●専門人材の中途採用数:5人 ※2019年度は上期のみ実施 ●女性管理職比率(課長級以上):15.1%(45人) 	<ul style="list-style-type: none"> ●正社員登用:32人 店舗限定社員登用:28人 ●専門人材の中途採用:3人 <ul style="list-style-type: none"> ・美術専門セールス:1人 ・紳士フィッター:1人 ・経理スタッフ:1人 ●女性管理職比率(課長級):13.0%(35人) 	<p>△</p> <p>△</p> <p>×</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●働き方の多様化に対応した 店舗限定社員への登用促進 ●専門人材の中途採用:3人 ●女性管理職比率(課長級):20%(54人)
労働安全衛生への配慮				
	<ul style="list-style-type: none"> ●BMI25%以上でかつ生活習慣病リスクが高い社員への健康増進活動の展開 	<ul style="list-style-type: none"> ●メタボリックシンドローム改善のため、社員食堂を活用した健康キャンペーンを継続的に展開 	○	<ul style="list-style-type: none"> ●社員食堂を活用したキャンペーンの継続実施と合わせて、健康セミナーなどの健康増進活動を展開

人事関連データ

従業員の内訳(2020年2月末)		(人)
正社員 ^{※1}		2,780
	男性	1,746
	女性	1,034
パートタイマー ^{※2}		2,568
	男性	262
	女性	2,305
従業員数(正社員数+パートタイマー数)		5,348
	男性	2,008
	女性	3,339
新卒採用者数		63
	男性	23
	女性	40
中途採用者数		0
	男性	0
	女性	0

	2017年度	2018年度	2019年度
正社員平均勤続年数	22年8カ月	22年8カ月	23年0カ月
育児休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	222人 (5, 118)	220人 (8, 116)	183人 (7, 101)
介護休職取得者数 ^{※3} (うち男性、パートタイマー)	7人 (0, 4)	7人 (0, 5)	11人 (0, 9)
ボランティア休暇取得者数	制度なし	制度なし	制度なし
女性管理職数(比率) ^{※4}	400人(34.0%)	366人(33.7%)	329人(34.8%)
	係長	338人(54.0%)	302人(54.7%)
	課長	34人(11.1%)	39人(13.1%)
	部長	28人(12.0%)	25人(10.6%)
	役員	3人(13.0%)	2人(8.7%)
障がい者雇用率 ^{※5}	2.16%	2.25%	2.22%
正社員有給休暇取得率	27.4%	24.4%	20.8%
労働災害度数率	0.37	0.33	0.69
労働災害強度率	0.00	0.01	0.01

- ※1 定年再雇用者101人を含みます。
 ※2 1日8時間換算による月平均人員。契約社員を含みます。
 ※3 該当年度中に取得した人数。(前年からの継続+新規取得)
 ※4 係長級以上の比率。
 ※5 年度の数値は翌年度の6月1日現在の数値。

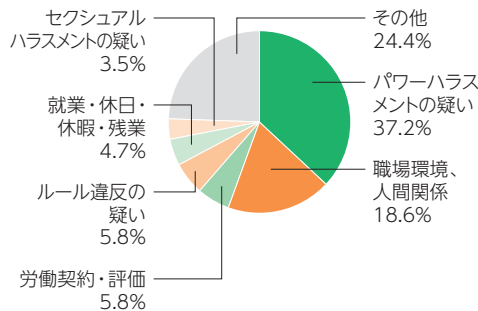
従業員相談受付関連データ

今年度の受付件数は前年度より約50%増加しました。相談内容としては、前年度同様パワハラ・職場環境に起因する案件が全体の5割超となる結果となりました。これは、従業員相談窓口(社内通報制度)の周知徹底とともに、匿名性の確保により、相談者自身の活用への抵抗感が小さくなったことも大きく影響していると考えています。

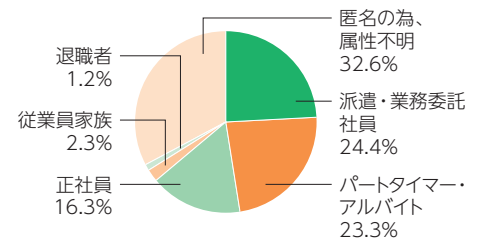
相談内容については、事実関係の確認と原因・課題を明らかにした上で、顧問弁護士による助言や関連部門と連携を図り、改善措置の構築と再発防止に取り組んでいます。

また、従業員に対するコンプライアンスおよびリスクマネジメントの徹底についての研修を定期的に行い、法令および社内規定の遵守徹底を図っております。今後も、従業員相談窓口の信頼性向上と事件・事故の未然防止に努めます。

2019年度相談内容の内訳
 受付件数86件(前年度比150.9%)



相談者の内訳



お客様、お取引先を巻き込んだエシカルな社会づくりと資源の持続可能性向上

2019年度の活動目標・実績と2020年度の目標

○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

課題	2019年度の目標・計画	2019年度の実績・成果	評価	2020年度の目標
環境に配慮した商品の提供	●アラスカシーフードフェア、お歳暮カタログへの掲載を継続実施	●アラスカシーフードフェアを12店舗(前年度+4店舗)で実施、お中元・お歳暮カタログ掲載 ●途上国への寄付付きバレンタインチョコレート(新規)の販売(新規)	○	●アラスカシーフードなど、認証マーク付き商品の提案強化 ●オーガニックやリサイクル素材など環境配慮商品の展開強化

環境関連データ(詳細)

■データ推移(2015年度～2019年度)

項目	単位	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
全社CO2排出量	t-CO2	193,101 ※1	171,690 ※1	142,853 ※1	123,536 ※1	116,173 ※1
店舗運営に伴うCO2排出量	t-CO2	192,417 ※1	171,052 ※1	142,241 ※1	123,062 ※1	115,753 ※1
店舗運営に伴う電気使用量	GWh	339 ※1	315 ※1	261 ※1	221 ※1	211 ※1
店舗運営に伴う水使用量	千m3	2,262 ※1	2,128 ※1	1,855 ※1	1,656 ※1	1,583 ※1
店舗運営に伴う廃棄物発生量	t	31,334	29,390	24,310	21,226	21,060

※1 2018年2月改定の「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

■2019年度実績及び中長期目標

項目	単位	2019年度実績		2019年度目標		2020年度目標	2021年度目標	2030年度目標
		実績	原単位 ※2	目標	評価 ※3			
全社CO2排出量 ※1	t-CO2	116,173	92	122,301	○	115,011	113,861	98,041
店舗運営に伴うCO2排出量 ※1	t-CO2	115,753	93	121,832	○	114,596	113,450	97,513
店舗運営に伴う電気使用量 ※1	GWh	211	0.169	218	○	209	-	-
店舗運営に伴う水使用量 ※1	千m3	1,583	1.267	1,639	○	1,568	-	-
店舗運営に伴う廃棄物発生量	t	21,060	17	21,014	△	20,850	-	-
再生可能エネルギー利用量 (太陽光パネル設置による拡大)	MWh	4	0.003	4	○	4	4	4

※1 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

※2 延床面積 [千m2] 当たり原単位

※3 ○:達成 △:わずかに届かず ×:大きく未達成

■2019年度店舗データ

店舗	CO2排出量 [t-CO2] ※	電気使用量 [GWh] ※	水使用量 [千m3] ※	廃棄物発生量 [t]
池袋本店	23,804	48	457	4,529
渋谷店	8,067	16	101	980
所沢店	4,183	9	56	786
東戸塚店	4,127	8	75	1,100
大津店	3,310	9	50	1,059
福井店	3,662	7	33	378
岡崎店	2,441	4	30	217
秋田店	2,558	5	25	495
横浜店	14,412	28	275	3,772
千葉店	17,355	24	148	2,412
広島店	10,904	15	103	1,453
大宮店	7,535	15	77	1,167
川口店	6,412	12	71	869
西神店	1,713	4	37	1,044
徳島店	5,272	8	47	800
店舗合計	115,753	211	1,583	21,060

※ 「セブン&アイHLDGS.グループ共通CO2排出量算定マニュアル」による算定(集計期間:4月～3月、電気使用に伴うCO2排出係数:温対法と同値)

■2019年度環境会計

環境保全コスト (百万円)

投資額	経費額	主な内容
232 (577)	1,145 (1,210)	LED導入 (3店舗)

経済効果 (百万円)

効果額	主な内容
860 (566)	環境商材売上利益、LED導入による省エネ効果 他

環境保全効果

効果	主な内容
電力1,263 (3,517) [千kWh] 削減	LED導入による省エネ効果 他

※ () 内は前年

■2019年度サプライチェーンを通じたCO2排出量

区分	カテゴリ	CO2排出量 [t-CO2]	
		排出量	構成比
スコープ1	直接排出	6,326	0.4%
		(6,547)	(0.4%)
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	109,847	6.7%
		(116,989)	(7.1%)
カテゴリ1	購入した製品・サービス	1,228,984	75.3%
		(1,270,509)	(77.2%)
カテゴリ2	資本財	76,553	4.7%
		(51,542)	(3.1%)
カテゴリ3	Scope 1,2に含まれない燃料及びエネルギー活動	11,766	0.7%
		(11,577)	(0.7%)
カテゴリ4	輸送、配送(上流)	15,495	0.9%
		(15,377)	(0.9%)
カテゴリ5	事業から出る廃棄物	1,505	0.1%
		(1,632)	(0.1%)
カテゴリ6	出張	419	0.03%
		(415)	(0.03%)
カテゴリ7	雇用者の通勤	1,311	0.1%
		(1,414)	(0.1%)
カテゴリ8	リース資産(上流)	算定対象外	
カテゴリ9	輸送、配送(下流)	1,142	0.07%
		(1,270)	(0.08%)
カテゴリ10	販売した製品の加工	算定対象外	
カテゴリ11	販売した製品の使用	30,258	1.9%
		(19,452)	(1.2%)
カテゴリ12	販売した製品の廃棄	114,449	7.0%
		(114,593)	(7.0%)
カテゴリ13	リース資産(下流)	22,032	1.4%
		(22,703)	(1.4%)
カテゴリ14	フランチャイズ	算定対象外	
カテゴリ15	投資	算定対象外	
その他	従業員の家庭での電力使用による排出	11,571	0.7%
		(12,495)	(0.8%)
スコープ3	その他の間接排出	1,515,485	92.9%
		(1,522,978)	(92.5%)
合計		1,631,658	100.0%
		(1,646,514)	(100.0%)

※ () 内は前年